

発行日:2024年10月1日

—地域共生社会の実現に向けて—

目黒区健康福祉部
部長 保坂 春樹



社会福祉法人もえぎの会の利用者をご家族、職員や後援者はじめ関係者の皆様におかれましては、日頃より目黒区の福祉行政に多大なるご理解とご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

昭和53年に前身となる家族会の活動として開始したもえぎの会は、46年間にわたり、法人の理念である「自助自立」の精神をもって、通所施設や障害者グループホームの整備・運営等、多様なサービスの提供や支援に取り組んできたことに改めて敬意を表します。

また、コロナ禍では、多くの事業やイベントが縮小を余儀なくされ、通所事業やグループホームの運営等において、感染予防策を講じ、様々な工夫をしながら継続してまいりました。昨年度からは、事業報告会やしいの実祭り等を本格的に再開し、地域の行事にも積極的に参加するなど、以前のように交流の機会も増えてきました。これからも法人事業や余暇活動を通じて、皆様が充実した日々を過ごされることを願っております。

区では、本年3月に目黒区障害者計画(第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画)を策定しました。障害のある方の重度化・高齢化への対応、グループホームの整備支援等、計画に示している各施策を推進するためには、行政のみならず地域に根差した活動をしている貴法人や関係者の皆様と連携した取り組みが、極めて重要となってまいります。

障害者計画の基本理念である「誰もが自分らしく輝きながら共に暮らせる社会」の実現に向けて、様々な施策を進めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、法人が掲げる「自助自立」の精神をもって、さらなる法人のご発展と皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第23回 しいの実祭開催のお知らせ

11月30日(土)しいの実祭を開催します。地域の皆様と交流し、理解を深めていただくために開催を続けております。今年もしいの実社の館内を解放し、飲食の提供、製品作りの体験やイベントなども用意しております。お年寄りからお子様まで、多くの皆様に、楽しんでいただけますよう準備を進めています。織物を始めとしたいしいの実社の自慢の製品もこの日に向けて、心をこめて製造を進めています。

しいの実社の利用者も、元気な姿で皆様とお会いできることを楽しみにしております。詳しい内容は同封の案内をご確認下さい。

★ ★ ★ ★ ★

第23回 『新〜TSUMUGU〜』 お祭り

このお祭りに
ご参加ください
のお願いです
※入場料は無料
※受付時間
10時～16時

しいの実祭

開催日時 2024年
11/30(土)
10:00~14:30

会場 **しいの実社**
(自庫郵便局すぐそば！)



・2024年のテーマは「新〜TSUMUGU」

この年でにはつきずきす。令和の時代への先兆をくぐりこぎに願ひ込もう。

ワークショップ

♪ツタクルのしるし作り体験！



ライブパフォーマンス

♪ギター・ピアノ・歌唱・和楽器・ダンス・フルバンド・歌謡曲など



飯販品売

♪パン・和菓子・惣菜・飲み物等
多様な飲食店がぞろぞろ!



**後援 鳥取県
国府津市役所、もみぢの森推進委員会**

お問い合わせ 鳥取県観光人まなぶの家 しいの実社
しいの実祭実行委員会
TEL 03-5724-7153

当日券 ¥1,000
当日券 ¥500
当日券 ¥200

QRコードで申し込み



宿泊研修旅行

支援スタッフ 高城 豊

利用者の皆さんが4月から、どこへ行くのだろうと期待に胸を膨らませていた旅行。今年度は群馬県の伊香保温泉に向かうことになりました。2日間とも残暑は厳しかったのですが、皆さんは旅行を楽しむという熱い思いで暑さも吹き飛ばしていました。1日目はまずガトーフェスタハラダのラスク工場を見学しました。外観がギリシャの神殿のような造りで工場内部もきれいに整ったコースになっていて、オートメーションのラインで人が製品に触れる事はほとんどなく完成までたどり着く流れになっていました。焼きたてラスクの試食コーナーが設置されていて皆さん焼きたてのラスクを手に取り堪能していました。まだ温かく柔らかい食感は粗熱が取れた製品の味とは別物でした。しいの実社でも、手作りのラスクを作っています



壮観な全員集合写真



名物の水沢うどんに舌鼓

の思うように過ごしていました。

そして夕食からメインイベントである宴会に突入しました。カラオケの時間になるとほとんどの人がステージに上がって楽しんでいました。リクエストの内容が多種多様で童謡から歌謡曲、アニメの主題歌まで、また昭和から令和までのあらゆるジャンルと時代を網羅していて自然と誰でも参加して楽しめるイベントになっていました。仕事をしている場所も部門もそれぞれ違う利用者の皆さんですが、カラオケの順番待ちでも他の人が歌っているのをみんなで盛り上げ、みんなで一つになって楽しむ時間を共有できました。

すが、また違う味わいです。

その後、上州物産館で、昼食は名物「水沢うどん」でした。食欲旺盛な利用者は、うどんと天ぷら、炊き込みご飯をきれいに平らげていました。

15時過ぎにホテルに到着すると楽しみの一つの温泉に順番に入り夕食・宴会まではゆったりリラックスタイムになり、それぞれ



外観も素敵なガトーフェスタ



お楽しみカラオケタイム、次から次へと歌い踊る

2日目に訪れた道の駅川場田園プラザは地元の野菜や果物など様々な名物があり、多くの皆さんはソフトクリームを楽しんでいました。昼食は上州豚のとんかつ定食をいただきました。これもあつという間にお腹に収まっていた。

帰路のバス内でも寝てしまう人は少なく、ボランティアさんやスタッフと交流する場になり、あつという間の楽しい2日間でした。バスや旅館など、値上がりで厳しい状況ですが、今後も継続するつもりです。ご支援いただいている後援会の皆様に、参加者一同御礼申し上げます。



分厚いとんかつに大満足

PRANK PLAN音楽ライブ

施設長 小平真理



ノリノリ！笑顔もはじけます

しいの実社では、月1回土曜日開所を実施しています。平日は利用者は仕事に専念しており、土曜日開所で余暇活動をしてリフレッシュしております。

8月17日(土)に実施した土曜日開所では、3年前から毎年クリスマスに素敵な音楽映像とクリスマスプレゼントを届けてく



大迫力の生演奏とダンス

ださるNPO法人HappyJapanProjectさんのご厚意により、メジャーで活躍されているPRANK PLANさんに音楽ライブを提供していただきました。せっかくの機会なので沙羅の家の利用者さんも参加し、もえぎの会の行事としました。

会場は目黒本町にあるおしゃれなカフェのチャムアパートメントさんです。プロダンサーのANRIさんやシンガーソングライターの鈴木あいさんも参加していただき、簡単な振り付けを教えてもらいながら踊ったり、優しい歌声に聞き入ったり、汗だくになりながら大いに盛り上がり音楽を楽しみました。クリスマスの時にも音楽映像で、みんな踊って歌ってとても盛り上がりますが 生で直接体感する音楽は、一層の迫力と楽しさがありました。この時の様子は、PRANK PLANさんが、個人情報に配慮しながらYouTubeにもアップしてくださいましたので、ぜひご覧ください。しいの実社のパンを歌詞に入れていただき、一緒に踊ったり、とても楽しいひと時を皆で過ごさせていただきました。



みんなでダンス！

こちらから → https://youtu.be/RkKc_Ww24BU?feature=shared

家族会懇親会の開催

事務局 岡田なおこ

もえぎの会では年に5回の家族会を開催し、法人や施設の運営状況など情報共有の場としています。法人と家族が一緒になって事業を作り上げていくという考えで運営されております。

コロナも一段落し、会員も増えていることから、久しぶりの懇親会が開催されました。世話人の方々が尽力してくださいまして、レストランの個室を借り切ってランチ会となりました。

今年入られた2組のご家族と、昨年入られたご家族とフレッシュなメンバーも加わり、法人の立ち上げに尽力して下さった世代のかたや、現在中心となって後援会の運営に尽力していただいているかた、ご兄弟、様々な立場で関わってくださっているご家族の皆様と懇親することができました。

今年は重点課題に支援者の世代交代のための対策というテーマを掲げております。家族会の中でも、法人が産声を上げるときの苦労話や思いを尽力して下さったご家族から話を聞くことで、法人や支えていただいている家族会や後援会が、世代交代しても当初の開設の時に抱いていた思いや志を受け継いでいけるよう、取り組みをしています。世代は変わり、世の中は変わりますが、思いを受け継いで、事業が継続・発展するように、これからも努力していきたいと改めて考えております。





医療法人社団 田島厚生会

北区神谷1-27-14

TEL 03-3914-5535

<https://www.tajima-group.or.jp>

医療法人社団田島厚生会は、都内で高齢化率の高い北区と板橋区で地域に密着した医療を提供しています。また、同グループ会社である(株)ケアネット・トキではデイサービスや多機能ホームなどの介護サービス事業を運営されています。理念の先頭にノーマライゼーションを掲げ、介護保険スタート時からいち早く医療と介護の連携に取り組まれています。星川理事長はしいの実祭にも遊びに来てくださったことがあり、後援会入会のきっかけでもあるしいの実社の利用者とのエピソードの中にも、「障害のあるなしに関わらず人としての尊厳について気がつかされた」というお話がありました。その理念や考え方に、深く共感を覚えます。

星川直哉理事長



また、9月には田島厚生会初の試みとして設立77周年を記念したイベントが開催され、整形外科医師でもある星川理事長による高齢のかたに向けた股関節・肘関節の講演だけでなく、お子さんも楽しめる縁日を盛り込み、地域に根付いて自分たちの活動を知ってもらうということにも積極的に取り組まれています。

最後に、趣味についてお尋ねするとずっと続けている野球はもちろん好きですが、荒川も近いのでよく自転車に乗っていますとのこと。人を、地域を大切にしている田島厚生会のさらなる発展を期待しています。もえぎの会としても利用者さんが地域で安心して暮らし続けていくためにも、地域に自分たちの活動を知ってもらい、貢献できることを積極的に見つけて地域と関わりを深めていきたいと、星川理事長のお話を伺いながら改めて感じました。



神谷病院外観

Café&Restaurant まさひろ

しいの実社学芸大学店から程近く、しいの実社の土曜開所などでもお世話になっているCafé&Restaurantまさひろで、店長の本多正義さんにお話を伺いました。2005年に開店し、店名は店長とマスターのお二人の名前を一字ずつとって名付けられました。

お店に入ると目に飛び込んでくるのは大きな波佐見焼のお皿で、お店のシンボリックな存在です。他にもマスターが選んだ素敵な作品が並んでおり、カウンター前に整然と並んだサイフォンや器、入り口にギャラリーのように美しく並んだ作品たちを眺めるのも楽しい時間です。夜の「推し」メニューのトルコライス、えびピラフ&ナポリタンとカツなど3種から選べるメイントッピングにハヤシソースかけた大人のお子様ランチ！大人も子どもも大好きなものが大集合した、お腹も心も満たされるメニューです。

目黒区中央町1-17-9

TEL 03-5721-3036



土曜開所で利用させていただいたときの印象をお尋ねすると、「利用者のかたが外に出かける機会を作られているのはとても良いことだと思います。年齢や障害によって自由に出かけることが難しくなることがあると思うので、職員のかたは大変かもしれませんがこれからも続けていけると良いですね」と温かいコメントをいただきました。

一人でも大勢でも、お腹ペコペコでもちよっとコーヒーが飲みたいときでも、どんな時に行っても心地よい時間を過ごせる貴重な存在で、これからも長くお付き合いさせていただきたいです。



土曜開所の1コマ



医療法人社団 結和

かきのき眼科

品川区小山6-3-9
ウエストヴィレッジビルディング4F
TEL 03-6426-4639
kakinokiganka.jp

2009年に開院され、2014年に続き、10年ぶり2度目の訪問となる「かきのき眼科」の柿木一邦院長にお話を伺いました。西小山駅徒歩0分というアクセス良好な立地で、同じビル内の薬局や他科とも連携をされ、患者さんにとっても利便性や安心感のある環境で受診することができます。

「10年前と基本は変わっていません。地元根付いて赤ちゃんから百歳までの幅広い年齢層の患者さんを診療してきました。」とおっしゃる柿木院長。大切な目は、小さな違和感でも生活の質に影響するとおっしゃっています。そして、近年のスマホやタブレット端末の普及により、視力低下を招いている子どもたちや高齢者の方々にもできる限り裸眼での生活が続けられるよう、オルソケラトロジー・眼内コンタクトレンズ(ICL)・日帰り白内障手術などの提供を行っていらっしゃいます。また、形成外科と眼科のスペシャリストでもある村上医師による、眼瞼手術も提供されておられます。

学生時代から野球に打ち込んでいらっしゃったのはお聞きしていましたが、10年の歳月を全く感じさせない若々しい院長のお姿に驚きました。現在はお子さんたちの野球チームのコーチをされ、お休みは専ら野球の日々だとか。ユニフォーム姿がほうふつとします。

もえぎの会後援会への入会はお付き合ひのある利用者家族とのご縁からで、その利用者のお話が出るとDoctorのまなざしから、ふっと和まれたお優しいまなざしになられることにお人柄の温かさを感じました。

これからも地域の皆さんとパワーの共有をしつつ、患者さん一人一人に向き合う診療をお続けください。



優しい雰囲気の院内にて

西小山駅徒歩0分



新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

(他行からは、ゆうちょ銀行 当座 〇一九店 0667751)

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

2024年秋の碑文谷八幡宮例大祭

施設長 長谷 茂雄

今年も碑文谷八幡例大祭の町内神輿渡御に沙羅の家の利用者さんと職員で参加してきました。

9月14日は南一丁目町会の夜の部に参加させてもらい、蒸し暑い夜でしたので、みんなたくさん汗をかきながら神輿を担いだり、担いでいるかたを応援したりと楽しませていました。終わってからは八幡様の境内へ移動して、屋台で焼きそばを購入したり、射的



縁日を楽しみました

やスーパーボールすくいを楽しまれたりと夏の良い思い出になったようです。

翌日は向原西町会に参加させていただきました。日中だったこともあり酷暑だったので、お神輿は沙羅の家向原のそばを通る際に眺めるだけになってしまいましたが、境内の屋台へ行き、かき氷や焼きイカ、フランクフルト等など好きなものを購入して楽しんでいました。

新型コロナウイルスが5類に移行し、毎年の行事を以前のように楽しみ、地域の皆様とも交流ができる日々が戻ってきたことをとても嬉しく感じております。



南1丁目 一緒にお神輿を担ぎました



おそろいの法被を借りて

沙羅の家合同外出イベント

世話人 杉本 康治



広い個室で本格中華



編集後記

今回の取材を通して、改めて地域や関係者の皆様と交流させていただくことの大切さやありがたみを感じました。私たち法人の活動も、広報を通して多くの皆様に知っていただく大切なツールとして、これからも充実させられるよう取り組みます。(岡田)

3月20日(水・祝)、恒例の沙羅の家合同イベントを行ないました。今回は東京ドームシティにある後樂園飯店に行ってきました。6年前にも一度行ったことのあるお店なので、覚えていた方もいるかもしれません。今回も広い個室を貸し切り、回転テーブルを囲んで本格的な中華料理を頂きました。あらかじめ、たくさんのメニューから食べたいものを選んでいただいたので、当日は温かいお料理がスムーズに運ばれてきました。普段とは少し違う雰囲気、新鮮な気持ちで楽しんでいただけたらという思いで企画を進めていきました。イベントを終えた後、「おいしかった」「また行きたい」という感想もいただきました。今後もイベントや毎日の生活を通じて、利用者の皆さんに「楽しい」と感じていただける時間をたくさん提供できるよう、支援に努めてまいります。



会話も盛り上がります

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)

電話: 03-5724-7153

e-mail: shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

